（様式第２－４－２号）

営農型太陽光発電設備の設置による下部の農地における

営農への影響の見込み

作成年月日　　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　営農者　氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　設置者　氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　土　地　所在・地番

１．生育に適した日照量の確保

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作付予定作物 | 遮光率 | 生育に適した条件等（日照特性等）及び設計上生育に支障が生じない理由 |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　（記載要領）

・　作付予定作物に係る生育に適した条件（陽性、半陰性、陰性等の日照特性等）を記載するとともに、営農型太陽光発電設備の設計（遮光率等）が農作物の生育に適した日照量が確保され、生育に支障を与えないとする理由を作付け作物ごとに具体的に記載してください。

　２．効率的な農作業の実施

　 (1)　支柱

|  |  |
| --- | --- |
| 高さ（m） | 間隔（m） |
| 最低地上高： | 最高地上高： |  |

(2)　農作業を効率的に行う上で通常必要となる空間の確保について

|  |
| --- |
|  |

　（記載要領）

・　営農型太陽光発電設備の支柱の高さ及び間隔、別紙様式例第１号２の(3)に記載した農業機械の機械寸法等を踏まえ、当該設備の設計が農作業を効率的に行う上で通常必要となる空間が確保されていると判断している理由を具体的に記載してください。

・　農地に垂直に太陽光発電設備を設置するものなど、当該設備の構造上、支柱の高さが下部の農地の営農条件に影響しないことが明らかであり、当該設備の設置間隔、規模、立地条件等からみて、当該設備の良好な営農条件が維持される場合には、その旨を記載すれば、高さは記載する必要はありません。

 ・　なお、許可の可否は、作付する農作物の栽培を効率的に行う上で、通常必要となる農業機械を想定して判断することになりますので、御留意ください。

（添付資料）

　１及び２に記載した内容並びに別紙様式例１の２の（５）の単収見込みの根拠となる資料を、次の区分に従って添付してください。

ア　イ以外の場合

次の(ｱ)～(ｳ)のいずれかの事項を記載した書類を添付すること。

　　(ｱ) 下部の農地の栽培作物について、当該申請に係る農地が所在する市区町村における営農型太陽光発電による収穫量及び品質に関するデータ（例えば試験研究機関による調査結果等）

　　(ｲ) 下部の農地において栽培する農作物について必要な知見を有する者の意見（別紙様式例第３号）

　　(ｳ) 当該申請に先行して当該市町村の区域内の下部の農地において耕作の事業を行う者の栽培実績

イ　申請に係る市町村において栽培されていない農作物又は生産に時間を要する農作物を栽培する場合

アの(ｲ)に掲げる事項のほか、次に掲げるいずれかの事項を記載した書類

(ｱ)　栽培実績（申請者自ら又は第三者に委託して当該市町村の区域内で試験的に実施した栽培の実績）

(ｲ)　単位面積当たりの収穫量の根拠を含む栽培理由（別紙様式例第４号）

（様式第２－４－３号）

下部の農地において栽培する農作物について必要な知見を有する者の意見書

　　作成年月日　　年　　月　　日

営農者　氏名

住所

設置者　氏名

住所

土　地　所在・地番

１．知見を有する者について

所属

役職・氏名

住所

連絡先

|  |
| --- |
| （知見を有する者の当該作物への関わり） |

　　（記載要領）

　　　　知見を有する者のこれまでの試験研究実績や栽培実績等、当該作物の栽培に知見を有していることについて記入し、研究データや栽培実績データ等の資料を添付してください。

２．知見を有する者による本事業についての所見

|  |
| --- |
|  |

　（記載要領）

営農計画書に沿った適切な営農の継続が可能であり、その結果、営農計画書又は栽培理由書、栽培実績書に記載した単収の確保が可能であるか等について、知見を有する者の研究データや栽培実績データ等を踏まえ、所見を記入してください。

（様式第２－４－４号）

申請に係る市町村で栽培されていない農作物又は生育に時間を要する作物

を栽培する場合における栽培理由書

　　作成年月日　　年　　月　　日

営農者　氏名

住所

設置者　氏名

住所

土　地　所在・地番

１．下部の農地で栽培を予定する農作物の名称と当該作物を選定した経緯

　　（作物名：　　　　　　　）

　　（経緯）

|  |
| --- |
|  |

　　（記載要領）

　「経緯」については、当該作物を栽培することによる農業経営上のメリット、土性や気象等の条件への適合性、営農者の栽培経験や知識の有無等に基づき、当該作物を選定することとなった経緯を具体的に記入してください。

２．単収見込

（　　　　　　kg/10a）

|  |
| --- |
| （単収見込の根拠） |

　　（記載要領）

・ 「単収見込の根拠」について、当該作物の収量に関する調査研究データや統計データのほか、自然条件に類似性のある他地域のデータ等を用いて記入し、その資料を添付してください。

３．作付けから収穫までに要する期間

（　　　年　　月）

|  |
| --- |
| （収穫までに上記期間を要する理由） |

　　（記載要領）

・作付けから収穫までに要する期間が１年を超える場合に記入してください。

・「収穫までに上記期間を要する理由」について、当該作物の収穫までに要する期間の調査研究データや統計データ等を引用して記入し、その資料を添付してください。

４．当該作物に係る知見を有する者からの営農協力について

|  |
| --- |
|  |

　（記載要領）

　営農の適切な継続のため、下部農地での栽培に支障が生じた場合における知見を有する者による営農指導等の体制整備について記入してください。

（様式第２－４－５号）

営農型太陽光発電設備の撤去費用を負担することの誓約書

　　　年　　　月　　　日

東広島市農業委員会会長様

住所

氏名（営農型太陽光発電設備の設置者）

（営農型太陽光発電設備の設置者）は、当該申請に係る事業で設置する営農型太陽光発電設備について、事業の終了時又は事業の廃止時に当該営農型太陽光発電設備の撤去費用を負担することを約します。

|  |
| --- |
| 撤去費用（見込） |
| 万円 |

（様式第２－４－６号）

下部農地の栽培実績書及び収支報告書の提出に係る誓約書

　　　年　　　月　　　日

東広島市農業委員会会長様

設置者　氏名

　　　　住所

営農者　氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

（営農型太陽光発電設備の設置者及び営農者）は、当該申請に係る事業で設置する営農型太陽光発電設備の下部農地における毎年の栽培実績書及び収支報告書について、翌年２月末日までに報告することを約します。